

「JFE21 世紀財団」2004 年度技術研究助成・交付研究一覧

「JFE21 世紀財団」は 2004 年度の技術研究助成を下記のとおり決定しました。

本財団は、日本の国公立大学に所属する個人またはグループに、(1) 鉄鋼技術研究 (材料、製造プロセス、関連技術、副次生成物などの研究)、(2) 環境技術研究 (環境の浄化、保全および新・省エネルギーの研究) への支援として、1 件当たり 200 万円、助成総件数 25 件、助成総金額 5000 万円を助成する内容の公募を 5 月初旬から 6 月下旬にかけて行ないました。

205 件の応募の中から本財団が委嘱した審査委員会 (委員長: JFE スチール会長 半明正之、委員: 大学教授 6 名、JFE 役員 4 名) の選考に基づき 9 月中旬に決定、公表しました。贈呈式は、11 月 24 日に JFE ホールディングスにおいて行なわれました。

なお、当財団が行なってきた技術研究助成は、1991 年以降今年度までの累計で、267 件、5.4 億円になります。

鉄鋼技術研究 16 件 (五十音順)

井村 順一 (東京工業大学 助教授)	圧延順スケジューリングと加熱炉燃焼制御のハイブリッドダイナミック最適化
馬越 佑吉 (大阪大学 教授)	転位の可逆運動を利用した新超弾性 Fe-Al 系合金の開発
鈴木 茂 (東北大学 助教授)	鉄-酸素-水素系化合物の原子レベル形成過程の評価と制御
連川 貞弘 (東北大学 助教授)	高温変形損傷を受けた材料の磁場作用を利用した治療・機能再生に関する研究
戸野倉 賢一 (東京大学 助教授)	小型真空紫外レーザーイオン化質量分析計を用いた芳香族化合物簡易計測システムの開発
中島 正愛 (京都大学 教授)	鋼構造物解体合理化工法の提案を通じた環境負荷低減
中山 昇 (秋田県立大学 助手)	起電力による鉄鋼の衝撃変形評価とその応用
成田 吉弘 (北海道大学 教授)	形鋼の軽圧下圧延後に生じる塑性変形曲率に関する研究
濱川 洋充 (大分大学 助教授)	鉄鋼製造過程における廃熱回収装置の高性能化に関する研究
福山 博之 (東北大学 助教授)	高温活性非平衡メルトの熱輸送特性計測システムの構築
松岡 純 (滋賀県立大学 助教授)	溶融スラグおよびモールドフラックスの光吸収特性と輻射熱伝達特性
松本 龍介 (九州工業大学 助手)	強変形による結晶粒微細化過程の分子動力学解析と高効率プロセスの開発
安井 武史 (大阪大学 助手)	テラヘルツ断層撮像法を用いた塗装鉄鋼材料の非接触リモート腐食診断
矢野 哲司 (東京工業大学 助教授)	高温ラマン分光法によるケイ酸塩融体の構造解析
矢吹 彰広 (広島大学 助手)	鉄鋼材料のクロメート処理に替わる自己修復機能を持つフッ素系化成処理膜の開発
吉川 昇 (東北大学 助教授)	含 Cr 製鋼スラグのマイクロ波処理による Cr 酸化物選択分離に関する研究

環境技術研究 9 件 (五十音順)

飯田 訓正 (慶応義塾大学 教授)	DME を燃料とする補助動力用低公害・高効率 HCCI 機関の開発研究
岡本 浩明 (山口大学 助手)	新規有機ゲル化剤を基盤とする水質改善システムの開発
出口 清一 (名古屋大学 講師)	紫外エレクトロルミネセンスを光源とする超高効率光触媒水質浄化技術の開発
寺坂 宏一 (慶応義塾大学 助教授)	リチウム複合酸化物微粒子を懸濁させた高温溶融塩による CO ₂ 回収
鳥本 司 (北海道大学 助教授)	構造の精密制御による高機能半導体ナノ粒子光触媒の開発と環境浄化への応用
畑中 研一 (東京大学 教授)	グルコースを基本単位とするバイオマスの評価と炭素循環材料の構築
引原 隆士 (京都大学 教授)	分散型電源の受動的マイクログリッドによるエネルギーネット構築の基礎研究
藤田 修 (北海道大学 教授)	DME を媒体とするエネルギー循環社会を目指した触媒燃焼技術の開発
村瀬 英一 (九州大学 教授)	放電プラズマによる POx 燃料生成技術に関する研究

〈問い合わせ先〉

JFE21 世紀財団 (事務局) Tel 03 (3217) 3033 Fax 03 (3217) 3036
E メール foundation@jfe-21st-cf.or.jp URL <http://www.jfe-21st-cf.or.jp>